

# 中頓別鍾乳洞

波状溶食痕

ノック

鍾乳洞第1洞入口

貝の泉



鍾乳洞第1洞

断面図



平面図

入洞可能距離は約60mです!



中頓別鍾乳洞は、新生代第三紀（約1千万年前）に堆積した石灰岩の中に形成された新しい時代の鍾乳洞です。中頓別鍾乳洞の他に長崎県（七ツ釜鍾乳洞）や沖縄県（玉泉洞）などで見られるごく新しい時代の鍾乳洞と比較しても、貝殻片の大量堆積により鍾乳洞が発達するほど石灰分の割合が高い地層ができたということは非常に珍しいそうです。中頓別鍾乳洞を形成する石灰岩は、そのほとんどがフジツボ類の貝殻片であり、遠い昔、この周辺は岩石海岸の浅い海域であったと考えられます。

鍾乳洞の内部には、ノックや波状溶食跡など、石灰岩が水により溶けてできるいろいろな形をした溶食形態を見ることができます。古代の不思議をご体験下さい。

<鍾乳石>

鍾乳石は保護の観点から一般公開しておりません!



北海道指定  
天然記念物